

能登半島地震 山地災害緊急支援チームの派遣

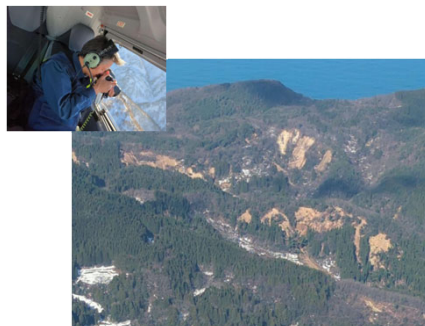
◆林野庁（本庁・森林管理局）は1月15日よりMAFF-SATとして「能登半島地震 山地災害緊急支援チーム」を新たに編成し、石川県と連携し、奥能登地域における避難所・集落周辺の森林や既存治山施設の危険度点検、山地の被害状況の把握や復旧対策に向けた技術的な支援を行う（15日から治山技術者6名を追加派遣し、今後の点検や進捗に応じ現地ニーズに対応）。



緊急支援チーム出発式 (1/12)



MAFF-SATによる 現地調査 (1/12・輪島市)



へり調査結果も活用した点検対象箇所の確認作業状況



現地点検状況



被害等の調査

(七尾市)



応急対策前



応急対策後

(珠州市正院町)

※（一社）日本林業土木連合協会（林土連）提供のものを利用

斜面に亀裂等が確認された場合は、（一社）日本林業土木連合協会から提供のあったブルーシートを石川県との災害協定に基づき、石川県森林土木協会が応急措置を実施。

<点検・支援概要>

- 点検エリアは奥能登総合事務所管内（珠州市・輪島市・穴水町・能登町）。
- 約100箇所の避難所周辺の森林や集落周辺の森林等を点検。
- 宿泊地の中能登町から車両で点検拠点（奥能登総合事務所）まで移動し、その日の点検箇所や交通状況、天候等を確認し、点検を開始。
- 3人×4班体制で、2～3箇所／班・日、全班で約10箇所／日を点検し、今月中に全ての点検を完了させる。
- ※今回の危険箇所等の点検支援は、県による災害復旧申請に必要な資料作成を加速し、災害復旧事業等の迅速な採択に貢献。